はちのす

木戸小学校学校だより

令和８年４月２３日
№２９０



今年度もよろしくお願いいたします

校　長　　長谷川　嘉彦

満開の桜に迎えられ、新しい年度が始まりました。学校には、子どもたちの明るい声が戻ってきました。春の光に包まれた子どもたちの姿を見ていると、この一年がどれほど豊かな学びと出会いに満ちたものになるのか、胸が高鳴る思いがします。

今年度、本校が目指す学校像を以下のように掲げました。

すべての子どもが安心して参加できる学校・地域
～すべての子どもが互いに聴き合い・支え合い・認め合いながら自分らしく学び育つ学校～

これは、子どもたち一人一人が自分らしく輝ける場をつくりたいという、私たちの願いそのものです。子どもたちは、一人一人が違う背景や得意・不得意、思いを抱えて学校にきます。その違いこそが学びの豊かさを生み、互いを理解し合う力を育てます。しかし、違いがあるからこそ、安心して自分を出せる環境が欠かせません。「自分の考えを語ってもいい」「困ったときに誰かが気付いてくれる」「失敗してもやり直せる」…そんな空気が学校全体に満ちていることが、子どもたちの挑戦する心を支えます。今年度は、子ども同士が「聴き合い・支え合い・認め合う」関係づくりを、学校全体で丁寧に育んでいきます。

そして、その学びの土台となるのが「地域とつながり、地域と共に育つ学校」です。学校は地域の中にあります。子どもたちは、地域の大人の眼差しに見守られ、地域の文化や歴史に触れながら育っていきます。地域の方々が学校にかかわってくださることで、子どもたちは「自分は多くの人に支えられている」という安心感を得ます。また、地域の多様な経験や知恵に触れることは、教室だけでは得られない学びの広がりを生み出します。

昨年度も、見守り活動、行事への参加、環境整備など、様々な形で地域の皆様に支えていただきました。子どもたちの笑顔の裏には、皆様の温かい手と心があります。今年度も、引き続きお力をお貸しください。学校と地域とが手を取り合うことで、子どもたちの学びはより豊かに、より確かなものになっていきます。

また、保護者の皆様には、日頃より当校の教育活動へのご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。家庭と学校とが同じ方向を向き、子どもたちの成長を喜び合える関係こそ、子どもたちにとって何よりの力となります。小さな変化や成長を共有しながら、共に子どもたちを育んでいきたいと思います。

新しい一年のスタートにあたり、地域・家庭・学校が一つのチームとなり、子どもたちの未来を支える力強い土台を築いていきたいと考えております。

今年度も、どうぞよろしくお願いいたします。



転退職者紹介　～お世話になりました～

１年１組担任　　須藤　朋子　（退職）
　５年間お世話になりました。入学してくる１年生が、どんどん成長していくのを間近で感じられることがとても幸せでした。保護者の皆様、地域の皆様、ボランティアの方々、ありがとうございました。そして、４月からまた一緒に学習できることがうれしいです。どうぞよろしくお願いします。
なお、須藤教諭は、令和8年度は非常勤講師として木戸小学校に勤務します。

栄養教諭　　大沼　由里子　（退職）
　木戸小学校では、２年間お世話になりました。給食を通して、明るく元気なみなさんと過ごすことができ、とても楽しかったです。みなさんのこれからの活躍を期待しています。ありがとうございました。

わかたけ７組担任　　加茂　勇　（退職）
　今年度をもちまして、退職することとなりました。これまで多くの子どもたち、保護者の皆様、そして職員の皆様に支えていただき、心より感謝申し上げます。ここでの出会いと経験を胸に、今後も歩んでまいります。

わかたけ１組担任　　永井　克行　（新潟市立山田小学校へ）
　木戸小学校では３年間お世話になりました。元気で明るい子どもたちと過ごす毎日はとても楽しかったです。また、保護者や地域の方々にも様々な面でご支援をいただいて、本当に感謝しています。ありがとうございました。

初任研拠点校指導教員　　安立　育子　（新潟市立松浜小学校へ）
　週１回水曜日に、いっしょに学ぶことができ、楽しく過ごすことができました。明るくて素直な子どもたちとたくさん歌を歌うことができて、うれしかったです。ありがとうございました。

学校看護師　　名児耶　一栄　（新潟市立西特別支援学校へ）
　皆様のおかげで、２年間事故なく医療的ケアを実施することができました。感謝申し上げます。学校、病院あらゆる場面において安全が一番大切という事実を再認識しました。２年間、本当にお世話になりました。

転入職員紹介　～ようこそ、木戸小学校へ～

わかたけ５組　　勝山　操　　（新潟市立葛塚東小学校より）
　子どもたちとの出会いを楽しみにしてきました。子どもたちの挑戦を支え、成長につなげられるように、私自身も努力していきたいと思います。どうぞ、よろしくお願いします。

わかたけ３組　成田　達哉　（魚沼市立小出小学校より）新潟市新採用
　魚沼市　から参りました。子どもたちの充実した学びをサポートできるよう努めて参ります。また、子どもたちとたくさん関わり、温かい関係を築いていきたいと思います。よろしくお願いします。

３年２組　　林原　伊吹　　新採用
　木戸小学校の子どもと過ごす学校生活を楽しみにしていました。子どもたちが安心して元気に学校に通うことができるよう精一杯取り組んでいきます。よろしくお願いします。

栄養教諭　　長谷川　綾子　（新潟市立木崎小学校より）
　初めまして。木崎小学校より参りました。給食を通じて、木戸小学校の皆さんが元気で楽しい学校生活が送られるようお手伝いしていきたいと思います。どうぞよろしくお願いします。

特別支援教育支援員　　岩佐　育子　（新潟市立東中野山小学校より）
　東中野山小学校から参りました。木戸小学校とわかたけの子どもたちと楽しく遊んだり、勉強したりするのを楽しみにしています。
よろしくお願いします。

ワーナー　サイラス　（ALT）
　あなたと一緒に英語や世界についてもっと学べることを楽しみにしています。言語学習は、難しいものだと分かっていますが、一緒に楽しみながら成長してきましょう。

はちのす

木戸小学校学校だより

令和８年７月２１日
№２９１



無心に草を抜く時間から

校　長　　長谷川　嘉彦

突然ですが、みなさんは最近「無心」になる時間をおもちでしょうか。慌ただしい日々の中で、目の前の一つのことに没頭する時間は、今の社会において意外と貴重なものかもしれません。

私にとって「無心になれる時間」は、玄関前の花壇の草むしりでした。花壇の中は、生命力あふれる雑草たちが勢いよく背を伸ばし、本来主役であるはずの土が見えないほどに覆いつくしていました。「ここをきれいにしよう！」と決意し、手袋をはめて草むしりを始めました。根深く張った草を引き抜く作業は、想像以上に根気のいるものです。しかし、しばらく続けていると、不思議な感覚に包まれました。頭の中であれこれと考えを巡らせるのをやめ、ただ、目の前の草と向き合い、手を動かす…。周りの雑音が消え、ただ、土の匂いと草が抜ける音だけが響く…。私なりの「無心」の時間です。それは、私にとって一日のうちで最も心が整う、贅沢なひとときでもありました。

一人、黙々と作業をしていたところ、教頭や職員らが「一緒にやりますよ」と、加わってくれました。さらに、学校に足を運ばれていた小泉育友会会長までもが、快く腕まくりをして手伝ってくださいました。「いやー、すごい草ですね」「だいぶ抜きましたね」と声を掛け合いながら、みんなで汗を流す時間は、一人で草むしりに向き合う無心の時間とはまた違う、つながりの温かさを感じる時間となりました。みんなの力が合わされば、作業は一気に進みます。生い茂っていた雑草はどんどんなくなっていきました。

花壇の雑草を抜き終えた後、固くなっていた土をほぐし、腐葉土を混ぜて土作りをしました。黙々と手を動かしていると、まるで自分の心の中の固まった部分までほぐれていくようでした。

数日後、その花壇に、子どもたちが花の苗を植えました。小さな手で苗を包み、穴を掘った土の中にそっと置き、優しく押さえる姿は、どの子どもも真剣そのものです。「ここに植えよう」「大きくなるかな」と話しながら植えている子どもたちの表情は、期待と喜びに満ちていました。

さて、子どもたちの成長も、草むしりとよく似ているように思います。一気に伸びるわけではありません。時には、心の中に小さな不安や迷いという「草」が生えることもあります。それに気付かず放っておくと、いつの間にか伸びすぎてしまうこともあります。だからこそ、私たち大人が子どもの様子に目を向け、声を掛け、環境を整えていくことが大切です。また、授業での小さな成功体験、友達とのかかわり、先生との会話、家庭での安心できる時間…それら一つ一つが、子どもたちの根を支える「土」となります。成長には土も大切です。

草むしりをしていると、抜いた草の下から小さな芽が顔を出していることがあります。子どもも同じです。ふとした瞬間に、これまで見えなかった成長の芽が見えることがあります。その芽を見逃さず、そっと支えていくことが、私たち大人の役割なんだろうな…と草むしりをしながら思いました。



花壇に植えられた苗は、夏の陽ざしを浴びて、さらに深く根を張っていきます。それと同じように、子どもたちの心と体も成長していくことでしょう。まもなく迎える夏休み、ご家庭でも、子どもが無心になって何かに熱中できるような、そんな素敵な時間が見付かることを願っています。

令和８年度　運動会

運動会では、子どもたちが競技や応援、係活動、ダンスに一生懸命取り組む姿、様々な感情の中でも勝敗を受け入れようとする姿に、改めて運動会の価値を感じました。今年度は応援リーダーの人数を制限しなかったことで、多くの子どもたちが挑戦し、全校が一つになる雰囲気につながりました。「一生懸命はかっこいい」ということを、子どもたちの姿から教えてもらった運動会でした。

保護者の皆様には、日頃の励ましや当日の温かいご声援をいただき、心より感謝申し上げます。

～応援リーダー長の感想～

赤組応援リーダー

運動会の閉会式でも話したように、赤組はリレー練習で一度も勝つことができませんでした。しかし、負けても仲間を責める言葉はなく、互いをリスペクトする雰囲気があったからこそ、本番での勝利につながったのだと思います。運動会後に先生が「白組がいたからこそ、赤組は成長し、勝つことができた」と話してくださり、その言葉が強く心に残りました。競い合った白組への感謝の気持ちを改めて感じることができました。これからも相手をリスペクトする気持ちを心がけて生活していきたいです。

白組応援リーダー

応援リーダー長は、私にとって大きな挑戦でした。「リーダー長に挑戦して、最後の運動会をより良いものにしよう」と思い、応援リーダーの中心になり、全員を引っ張りました。毎日休み時間活動することは大変でしたが、一生懸命取り組んだ成果を感じました。それは、自分たちが教えた応援を当日全校のみんなが一生懸命していたことです。負けそうな場面でも自分たちと一緒になって必死に声を出して応援することができ、とても嬉しく感じました。これからも、様々なことに挑戦していきたいです。

５年生　自然体験教室

５年生は、６月２４日（水）～２５日（木）に、新潟市芸術創造村・国際青少年センター ゆいぽーとへ行きました。デイキャンプ体験でテントを立てたり、フォトオリエンテーリングをしたり、カレーを作ったりするなど、様々な活動を通して仲間と協力してやり遂げる大切さを学びました。

～自然体験教室の思い出～

H・Y
　自然教室で心に残ったことは、「野外炊さん」です。野外炊さんでは、カレーを作りました。私は調理係で、玉ねぎを切りました。作ったカレーはサラサラしていて、とても美味しかったです。また外で、みんなとご飯を作ってみたいです。

S・H
　私が自然体験教室で学んだことは自然の美しさです。ゆいぽーとは、ゲームやテレビがなくて、自然がたくさんありました。海や木に囲まれた場所で２日間を過ごして、とてもスッキリした気持ちになりました。

N・A
　自然教室で一番心に残ったことは、キャンドルファイヤーです。その中で、特に楽しかったのは５年生全員で踊った「マイムマイム」です。踊る時は、みんなのチームワークが必要で難しかったです。でも踊っている時は夢中になって、とても楽しかったです。

I・H
　自然教室で心に残ったことは、「野外すいさん」です。みんなで協力して調理をすると、カレーはいつもよりも美味しく感じました。調理の時は疲れたり、苦労したりしたけれど、やはり自分たちで作ったかいがあると思いました。友達と協力することの大切さを学びました。